

# 世界の遊び道具体験&工作 ワークショップ

Tanoshii  
workshop



**主な対象** 題材により変わります

**対家人数** 最大 20 名程度

**所要時間** 90 分～

このワークショップでは、世界各国のボードゲームやけんだま等のいずれかを題材として取り上げものづくりに取り組みます。どこから来た遊びなのか、どのような仕組みでどうやって遊ぶのか、じっくり体験するアクティビティと工作を組み合わせることで、より深く異文化に親しむことができるでしょう。家に持ち帰った作品は、この日得た思い出や学びを長く留める材料となるでしょう。

## ① イントロダクション

Tanoshii  
workshop

ワークショップの題材とする遊び道具を紹介します。レクチャー形式ではなく、どのような形をしているのか、どうやって遊ぶのかなど、問いかけて実際に触れて観察して考えながら紹介していきます。



## 【題材の事例紹介】

### マンカラ



マンカラはアジア、アフリカを中心に世界各国で親しまれているボードゲームです。窪みのある板（地面に穴を掘ったり、線を描いてもOK）と小石や植物の実、貝殻などの小さな粒を使用します。将棋やオセロのように二人で対戦するゲームで、先を読み、考える力が求められます。

これって遊び道具なんだ？  
どうやって遊んだらう？



## ② 世界の遊び道具に チャレンジ

Tanoshii  
workshop



題材に合わせて遊びかたを考えるクイズなどを交えながら具体的な遊び方を紹介し全員で体験します。遊び方を参加者がマスターできるよう、参加者とエドゥケーター、学生スタッフ全員で時間をかけて楽しめます。

作って、持って帰れるから家でもっと遊んで、もっと飾り付けしてみよう！



## ③ 自分で 遊び道具をつくらう

Tanoshii  
workshop



エドゥケーターや学生スタッフの説明に従って、材料を使って工作に取り組みます。一人ひとりの作業の進み具合に応じてエドゥケーター、学生がサポートするほか、参加者同士で助け合うよう促します。時間に合わせて自分だけの作品となるよう装飾も行います。

## ✂️ 他にもこんなものを作れます



題材に合わせて遊びかたを考えるクイズなどを交えながら具体的な遊び方を紹介し全員で体験します。遊び方を参加者がマスターできるよう、参加者とエドゥケーター、学生スタッフ全員で時間をかけて楽しめます。

## ④ 振り返り

Tanoshii  
workshop

どんな作品ができたか互いに紹介したり、完成した作品で遊んでみたりします。最後に題材とした遊び道具の背景を改めて紹介し、多様性に触れる機会としてのワークショップを締め括ります。